

序

広島県地域保健対策協議会は、県内における保健・医療・福祉に関する事項を総合的に調査、研究、協議し、もって県民の健康の保持・増進と福祉の充実に寄与することを目的として昭和44年に設立されました。その間多くの提言を行政等の関係機関に対し発信し、多大の成果を挙げており、発足以来38年目を迎え、ますますその重要性が増してきております。

全国的な医師不足、新型インフルエンザの脅威、療養病床の再編や後期高齢者制度の創設等の医療制度改革、更には世界各地で発生している大規模災害や、テロ事件等わが国の保健・医療を取り巻く環境は厳しさを増すと同時に大きな変革期にあります。これら状況に的確に対応し、県民の健康保持増進と「健康で、幸せな一生をこの地で過ごしたい」と願う県民の期待に応えるためにも今まで以上に県地対協は活発な活動を行っていく必要があると考えます。

このため、本年度は僻地等の医師確保対策、とりわけ産科・小児科医療体制のあり方や医療機関の集約化や重点化について集中的に検討してまいりました。

一方、アスベストによる健康被害や、新型インフルエンザの脅威に対応するとともに、乳がんの検診精度を図ることを目的として研修会や講習会の実施、更にはノロウイルス等の集団院内感染対策として相談体制のあり方について検討してまいりました。

また、大規模集団災害への適切な対応や、県内の救急医療情報ネットワークの充実を図るため集団医療救護訓練の実施や、それに基づく災害マニュアルの検証と改定、救急ネットのリニューアルに向けた検討も行いました。

その他、在宅ケアや緩和ケアの推進、子育て環境整備に関する支援策、がん検診等の生活習慣病対策、後発医薬品に対する問題点の検討と対応策等についても協議・検討を行ってまいりました。

このように県地対協では、それぞれの専門家が分野を超えて一致協力して問題解決にあたる場として活発な活動を行ってきており、その果たすべき役割は今後ますます大きくなっていくと痛感しております。

今後とも健康と安全を守るために、皆様方のご支援ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年11月

広島県地域保健対策協議会

会 長 碓 井 静 照

目 次

序	碓井 静照	i
平成 18 年度 広島県地域保健対策協議会 組織図		1
保健医療基本問題検討委員会		
産科医療提供体制検討部会		
平成 18 年度調査研究報告書		3
小児科医療提供体制検討部会		
小児科医療提供体制の確保について		13
救急医療・災害医療体制専門委員会		
救急医療・災害医療体制専門委員会活動報告		23
救急・災害医療情報検討部会		
次世代救急・災害支援情報システム「救急医療 Net Hiroshima」のリアルタイム応需機能		31
地域ケア促進専門委員会		
平成 18 年度調査研究報告書		41
訪問看護推進部会		
訪問看護ステーションのサービスの実態に関する調査		49
緩和ケア推進専門委員会		
緩和ケア推進専門委員会事業報告書		71
子育て環境整備専門委員会		
「子育て環境整備専門委員会」報告書		77
発達障害者支援特別委員会		
平成 18 年度発達障害者支援特別委員会報告書		81
乳幼児聴覚障害対策特別委員会		
乳幼児聴覚障害対策特別委員会報告書		97
アトピー性皮膚炎対策特別委員会		
アトピー性皮膚炎に対するシャワー浴の効果に関する調査		105
がん診療専門委員会		
平成 18 年度調査研究報告書		113
検診精度管理部会		
調査研究報告書		127
後発医薬品問題検討特別委員会		
後発医薬品問題検討特別委員会報告書		149
メンタルヘルスケア対策特別委員会		
職場のメンタルヘルスケアの推進（第 5 報）		
——一般医のうつ病初期診療のレベルアップを目指して——		153
生活習慣病予防専門委員会		
生活習慣病予防専門委員会の報告		157
糖尿病予防対策部会		
糖尿病予防対策部会報告		159
慢性肝疾患専門委員会		
「肝炎ウイルス検診」により見出された肝炎ウイルスキャリアの		
医療機関受診率の把握とその問題点		
——呉市の取り組み——		163
広島県域における「HCV 検診」の実施状況と		
かかりつけ医および肝臓専門医への受診状況		
——1992 年のモデル的試行開始から「肝炎ウイルス検診」		
5 年目の区切りの時期を迎えた段階までの総括——		167
感染症対策特別委員会		
感染症対策特別委員会平成 18 年度活動報告		171
臓器移植体制専門委員会		
臓器移植体制専門委員会調査研究報告書		177
あ と が き		181